

# 決算特別委員会 審査概要

平成19年度の一般会計及び特別会計(6会計)の決算が9月29日に市長から提案され、議会は8人の委員で構成する決算特別委員会(委員長・栗山欽行)に付託しました。委員会は、議会閉会中の10月7・8・9日の3日間審査を行い、「平成19年度狛江市一般会計決算の認定について」等7件を認定しました。主な質疑は以下のとおりです。

- 決算特別委員会委員(8名)**
- 委員長 栗山 欽行
  - 副委員長 西村 あつ子
  - 委員 田口 貴子
  - 委員 石井 功子
  - 委員 吉野 芳子
  - 委員 河西 かず
  - 委員 宮坂 良子
  - 委員 佐々木 貴史

## 一般会計の審査から

### 【総括質疑】

- 市を取り巻く財政状況の変化について過去からの検証。多摩地域自治体の財政状況比較、公債費、積立金について。
- 団塊の世代の退職は税収にどのような影響を与えるか。
- 経常収支比率が97・9%と目標値の95%に達成できなかった要因は。
- 緊急行動計画、財政基盤確立に関する到達点と評価は。
- 市民のためにがんばる市役所、とりわけ嘱託職員や臨時職員の基本的な位置づけと処遇の

- 基本的な考え方は。
- 平成17年度から緊急行動計画を余儀なくされた市長の市政運営、財政運営の総括は。
- 狛江市アクションプランの計画的遂行の確認について。
- 臨時財政対策債についての認識は。
- 事務事業評価を含めた行政評価について。
- 公共施設再編方針と耐震促進化計画について。
- 福祉バスからコミュニティバスへの移行の検討は。
- 経常収支比率から見た緊急行動計画、長期ビジョンについて。
- 不用額、不納欠損、徴収率について。
- 市民参加と市民協働について。
- 公共施設再編方針の策定における市民参加について。
- 市民活動支援センターの位置づけについて。
- 財政再建のための緊急行動計画の3年間の総括について。
- 子育て支援と次世代育成について。
- 補助金評価委員会答申と財政改革について。
- 業務のマニュアル化は。



- 予算編成と事務事業評価について。
- 女性管理職の育成と登用は。

### 【歳入】

- 収納率向上の要因は。
- 住民税フラット化の影響は。
- 市税の徴収率に関して現年度分の減の原因分析と収納対策は。
- 地方交付税減の理由は。
- 多摩川衛生組合の府中市参入による雑入の一般財源と基金への振り分けはどうなっているのか。
- 預金利子について。

### 【歳出】

- (総務費)
- 市民相談関係費の行政相談の

- 現状は。
- 公共施設再編方針策定委託料は、コンサル会社への委託料か。
- 国際化推進の中の外国人相談会はどのように周知しているのか。
- 川口町との交流20年をどのように評価しているか。
- 公共施設再編方針策定に向けての2007年度事業内容と委託料の内容について。
- ホームページをアクセスしやすい、わかりやすい内容につくりかえてほしいかどうか。
- 市町村職員退職手当組合負担金だが、各市等の負担割合は。通信運搬費の郵送料は大きな金額だが、圧縮できないのか。公共施設再編方針は、何年先まで見据えて作成しているのか。
- (民生費)
- 市民福祉推進委員会の回数を来年度ふやす予定は。
- 福祉バスの評価は。
- 敬老金の取り扱いについて。
- 高齢者配食サービスの不用額が多いが。
- 高齢者虐待の実績と対応について。
- 公園遊具の管理・点検のマニュアル化と再発防止策は。
- 保育ママの条件緩和は。
- 児童虐待の実績と対応について。
- 保育園修繕の考え方。
- 子ども議会体験事業のその後の対応は。
- 義務教育就学児医療費助成の対象人数と率は。
- 学童保育の時間延長のその後の経過は。
- (衛生費)
- ごみ有料化に伴う負担増と処

## 平成19年度 会計別決算状況

(単位：円)

区分	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額
一般会計	22,475,235,252	21,892,541,939	582,693,313
国民健康保険特別会計	7,728,340,145	7,945,960,661	△ 217,620,516
老人保健医療特別会計	5,179,203,367	5,256,113,508	△ 76,910,141
介護保険特別会計	3,607,758,553	3,440,845,318	166,913,235
公共下水道特別会計	2,273,356,796	2,219,924,529	53,432,267
駐車場事業特別会計	64,421,080	64,421,080	0
受託水道事業特別会計	356,382,095	356,382,095	0
合計	41,684,697,288	41,176,189,130	508,508,158

- 理経費減との比較を。
- ごみ半減推進審議会への諮問内容とその評価について。
- 健康診査の受診率向上に向けての見解は。
- 肺炎球菌ワクチン接種に向けて積極的な取り組みを。
- 過去5年間の健康診査の受診率の推移は。
- (農業費)
- 農業委員会設置の意味と活動内容は。
- (商工費)
- ポータルサイトの運営状況は。
- (土木費)
- 自転車の撤去・整理の拡充後の効果は。
- 自転車等駐車対策協議会が数年來開催されていない理由は。道路の必要性の所感は。
- (消防費)
- 地域防災に関して、町会のなところの防災の考え方は。
- (教育費)
- 少人数授業の講師派遣の特徴、成果あるいは課題は。
- 学校ボランティアに関し、車いすの子供の移動に対する配慮は。
- 第五小学校の芝生化状況は。
- 学校司書の配置状況は。
- 学校給食費補助の内容は。
- 部活動費補助の不用額が多い理由は。
- 西和泉体育館と西和泉グラウンドの施設開放のその後の検討状況は。
- (公債費)
- 平成19年度の一時借入金状況は。